

メディアコスモス

河口堰の影響を考える 長良川のパネル展示



展示された写真を眺める来場者＝岐阜市司町、みんなの森ぎふメディアコスモス

長良川河口堰（三重県桑名市）が長良川にもたらす影響などを考えるパネル展「よみがえれ長良川2023」が、岐阜市司町のみんの森ぎふメディアコスモスで開かれている。10日まで。

1995年に運用を開始した同河口堰の開閉調査の実施を求める「よみがえれ長良川実行委員会」が、同河口堰のゲートが閉じた7月6日に合わせて毎年開いている。

展示では、2月に名古屋市の河村たかし市長が事業容認姿勢を示した「木曾川水系連絡導水路事業」の関連点を指摘、同河口堰が生態系に与える影響についても説明した。ほかにも同河



口堰ができる前の長良川流域の写真や、実際に使われる漁具など計約120点が展示されている。

実行委員会事務局長の武藤仁（73）は「本来長良川は国内でも珍しいタムのない河川だった。河口堰を開放し、少しでも昔の美しい長良川に戻してほしい」と語った。（榊原あやな）

2023年7月7日岐阜新聞記事

土日のパネル展会場企画

7月8日（土）には「パネルの説明会」があります。

- 11：00～長良川に徳山ダムの水はいらない 武藤 仁
- 13：00～長良川の流域と歴史をめぐる 富樫幸一
- 14：00～長良川河口堰による環境変化 粕谷志郎
- 15：00～美濃横越「遊水地」計画を考える 野津 牧
- 16：00～長良川を楽しむ「釣り、ラフティング」 堀 敏弘

7月9日（日）にはミニコンサートがあります。

14：00～16：00

増田康記（雑花塾）のコンサート